

第 185 号 内容紹介

1 , S・ミラン「米の覇権維持のためのトランプ関税政策」

トランプ政権の関税政策を立案したとされる米経済諮問委員会のスティーブ・ミラン委員長の講演録。各国への要求は、アメリカの軍事、金融支配を維持するためだと目的をあからさまに語っている。

2 , 浅井基文「トランプ外交を判断する座標軸」

ウクライナでロシアとの和平に舵を切り、欧州を突き放した外交をどうみるか。中東やアジア政策を含めてアメリカの抑制的なシンクタンクの分析を多く紹介している。執筆再開のブログからの転載。

3 , F・ナポリターノ「ネタニヤフとトランプの大嘘をなぜ放置」

4月7日にホワイトハウスで会談した2人は、ガザの状況について見過ごすことのできない大嘘をならべたてている。一般マスコミや世界はなぜこれを放置しているのか。

4 , DDP「イスラエル空軍の予備兵 1000 人が戦争停止を要求」

空軍司令官は「署名者は追放さ」と脅したが、書簡は発表された。「戦争継続は目標に貢献せず、人質とイスラエル軍兵士、罪のない民間人の死と、IDF 予備軍の消耗につながる」とのべている。

その他の記事は「AALA ニュース編集日記」で参照できます ([aala_news の編集日記 \(livedoo na 愛用紹介 r.jp\)](#))